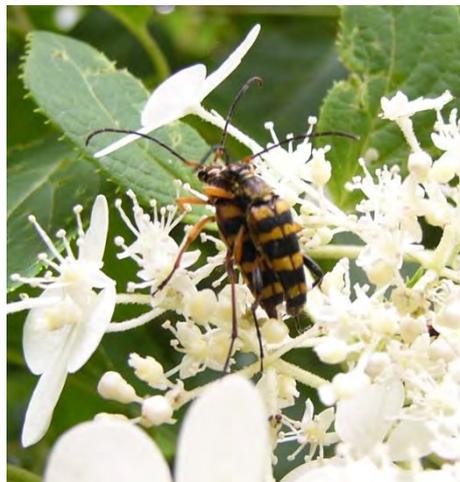


ヨツスジハナカミキリ

澄川森林基地の近くのノリウツギが粉雪をかぶったような白い花をいっぱい咲かせていました。この花に集まる虫たちが多く、カメラを持って近づきました。期待どおりに交尾しているヨツスジハナカミキリの画像をゲットできました。2010年7月30日9時19分と記録されました。



この虫の出現は6~8月。大きさは14~21mmです。黄色と黒の横縞はスズメバチやアシナガバチなどの攻撃的なハチたちの装いなので、それらに擬態しているといわれております。飛んでいる状態ではまさにハチのようで、とてもじゃありません、素手でなど掴まえる気など起こり得ません。

分布は島嶼を含む日本全土、海外についての情報は見つかりません。



幼虫は雑食性があるようで、各種の広葉樹の木質部分を齧り食べまして成長します。装いのパターンはそっくりですが、少し大きめのオオヨツスジハナカミキリがいて、こいつは針葉樹ばかりたべるようでかなり偏食のようです。こいつも北海道にも分布しているので、出会いを期待しております。

この時期は植樹適期を過ぎていきますので、森での作業は作業道の刈り払いや、薪づくり、基地整備などの環境整備作業が多くなります。この日も新しい物置づくりで、柱や梁を建てつける作業を担当する面々が活躍しておりました。



カ(蚊)、ブユ(蚋)、アブ(虻)などの吸血昆虫には閉口しますが、色々な生き物が出現、活動する季節なので、活動日にはそれらとの出会いの期待で胸がふくらむのであります。